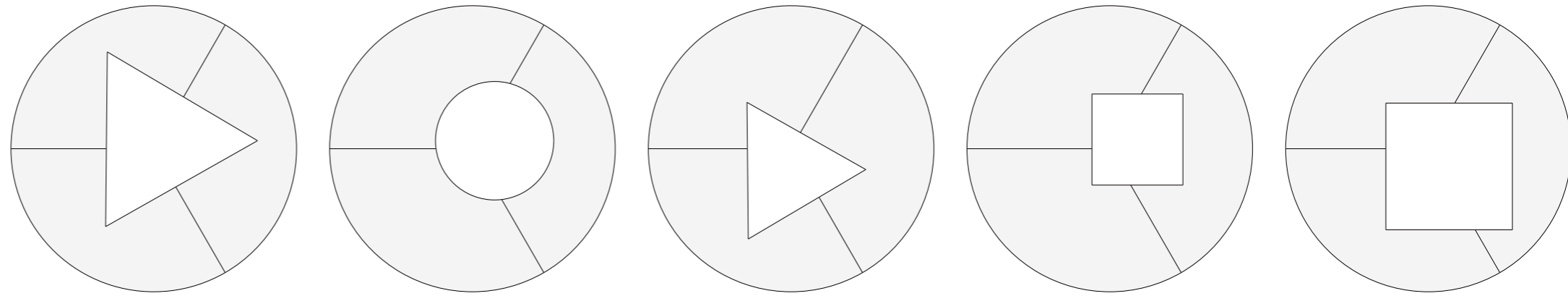


「よってわになる」

tre

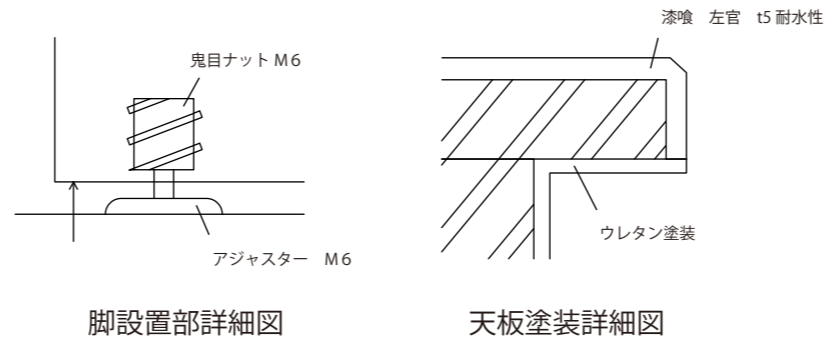


天板上面図 1:30

高島中央公園の広場は、直線的に伸びるキング軸の中で唯一、人の動きがさまざまに交差する場所である。ただ通り抜ける人や、ボール遊びをする親子、立ち話をする母親たち、ダンスの練習をする若者、... 自由に開けたこの場所にその広場性は保ちつつも、なにか人がそっと身を寄せて佇めるような場所を作れたら、と思った。

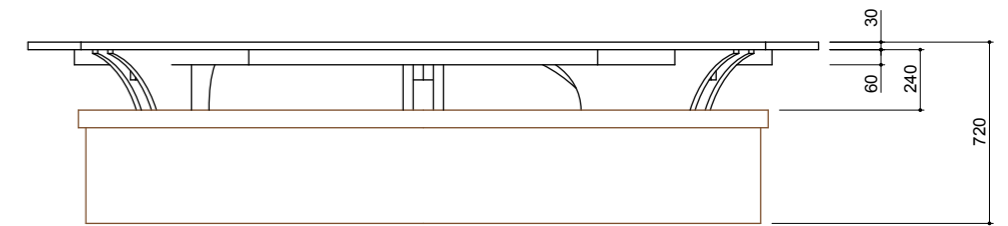
そうして広場を眺めてみると、既にあるモノたち ... 丸いレンガの花壇や、木陰をつくる樹、夜にあかりを灯す電燈など ... が、人が身を寄せるきっかけになってくれそうな気がしてきた。

彼らに依存して、そこに添えるようにして僕たちのテーブルを作ることにした。



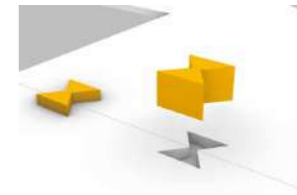
脚設置部詳細図

天板塗装詳細図



立面図 1:15

仕様
天板：シナランバーコア 30mm厚
脚：無垢材 40mm厚
仕上げ：漆喰塗り（白）
ウレタン塗装
重量：テーブル一台あたり 80kg
3つに分解可能

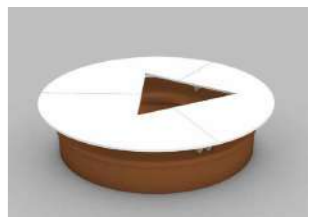
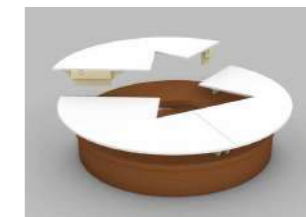
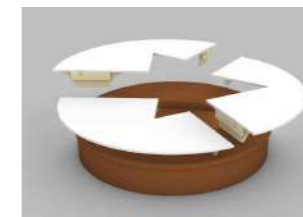


5つの円形のテーブルには、真ん中にそれぞれ異なる形の穴がある。先述したような“既存のモノ”をこの穴で囲うように設置することで、モノがテーブルの上に現れる。モノを中心にして人々が身を寄せる。

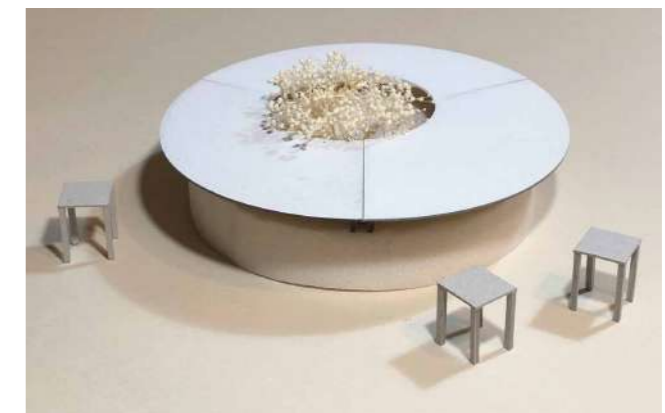
運搬と設置を考慮し、1つのテーブルを3つに分解できるようになっている。蟻型のパーツを抜き挿しすることで天板同士の接合/切り離しを可能にした。



配置図 1:500



イメージパース



模型写真